

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科		
科目名称	臨床栄養学臨地実習 A						授業形態		実習	
科目コード	309708	単位数	1単位	配当学年	3	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	村上 真珠美、竹元 明子								ICT活 用	○
授業概要	医療提供施設での学外実習である。実習施設の管理栄養士の指導を受けて、その職務を体験し、傷病者の病態・栄養状態に応じた適正な栄養管理、他職種連携の実践等について学ぶ。									
関連する科目	履修前：管理栄養士課程における必修・選択科目 履修後：実習内容を振り返り、実習で学んだ事の再確認を行う。									
授業の進め方 と方法	それぞれの実習施設でのスケジュールに添って管理栄養士の業務を体験し学ぶ。UNIPAで実習が実施できているか確認を行う。									
授業計画 【第1回】	臨床栄養学：病院・こども療育センター・介護老人保健施設等の医療施設で実習を行う。（選択必修） ■実習は、1人又は小グループで行う。 ■臨地実習は、各実習先の管理栄養士が実習態度、人間関係、問題解決能力、実務能力等についての評価を行い、最終的に単位認定は報告書の評価を含めて本学担当教員が行う。 ■臨地実習は、3年次から4年次に予定しているが、その実習の前提となる科目を終了していない場合は臨地実習に行くことができない。要件を満たした時点で臨地実習の履修資格を与える。 実習内容としては・病院及び施設・栄養部門の概要 ・患者・入所者のスクリーニング・栄養ケアプランの作成 ・外来・入院患者、入所者の栄養食事指導（個人・集団）の見学、指導記録の作成 ・カンファレンス・ベットサイド訪問参加 ・チーム医療・クリニカルパスの実践について学ぶ。 ・症例検討 担当患者の栄養評価。ケアプラン作成、栄養相談用のリーフレットなどの媒体作成、症例発表を行う。 栄養評価に基づく栄養ケア・マネジメントの流れ、傷病者・要介護者の対応等を体験し、適正な栄養管理の為に必要とされる専門的知識、技術を習得する。（2週間）									
授業計画 【第2回】										
授業計画 【第3回】										
授業計画 【第4回】										
授業計画 【第5回】										
授業計画 【第6回】										
授業計画 【第7回】										
授業計画 【第8回】										

授業計画 【第9回】	
授業計画 【第10回】	
授業計画 【第11回】	
授業計画 【第12回】	
授業計画 【第13回】	
授業計画 【第14回】	
授業計画 【第15回】	
授業の到達目標	臨地実習を通して、医療提供施設で活躍する管理栄養士の役割や業務内容の重要性を認識することができる。 栄養部門全般にわたり、基本的な理解を深め、専門職に求められる基本的な能力・知識等の資質を身につける。 チーム医療における他職種連携・情報共有の重要性、コミュニケーションの取り方等を学習し習得する。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	実習先の施設について調べる（3時間） 栄養ケア・マネジメントについて理解する（3時間） 身体測定の実習をする（1時間） 実習先からの課題についてレポート作成（6時間）
授業時間外学習【復習】	実習ノートの整理。 実習中に出された課題に取り組む。 実習終了後、報告書の作成、報告会の準備。 報告会の資料を作成する。
課題に対する フィードバック	実習ノートの提出、点検。実習報告会。実習に関するアンケート調査・結果報告。
評価方法・基準	実習先の評価 30点 実習ノート 30点 報告会 40点
テキスト	医療・介護老人保健施設における臨地実習マニュアル 臨床栄養学 寺元房子ほか 建帛社 必要に応じ資料を配付する。 実習ノート等を配布して使用する。
参考書	必要に応じて図書・資料を紹介する。
備考	臨地実習4科目から、合計3単位（3週間）以上を選択必修とする。